

令和4年度の事業概況及び決算について

I 事業概況

II 決算

1 財務諸表

- (1) 収支計算書
- (2) 貸借対照表
- (3) 財産目録

2 目で見る「収支計算書」と用語解説

令和5年5月

各位

愛知県信用保証協会

令和4年度の事業概況及び決算について

日ごろは、本協会の業務運営に格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。
このたび令和4年度の事業概況及び決算をとりまとめましたのでお知らせします。

I 事業概況

令和4年度における日本銀行名古屋支店発表の「東海3県の金融経済動向」では、年度当初から原油・原材料価格の高騰やウクライナ情勢等の影響を背景に、輸出と生産が足踏み状態となっており、景気は「持ち直しの動きが一服している」状態が続きました。11月以降は「横ばいで推移している」とされていましたが、3月は個人消費や生産の持ち直しにより、「緩やかに持ち直している」とされました。景気判断が引き上げられる一方、株式会社東京商工リサーチ発表の「全国企業倒産状況」では、愛知県においても倒産件数は前年を上回り、下げ止まりから増加傾向が鮮明になっています。

このような環境の下、本協会におきましては、令和4年度の保証承諾額は4,855億円（前年度対比110.5%）となり、前年度実績を上回りました。特に、コロナの影響を受けた事業者に対する保証制度である「伴走支援型特別保証制度」を中心に迅速な金融支援に努めてまいりました。保証債務残高は、2兆2,675億円（前年同期比98.3%）と前年度実績額を下回りました。代位弁済額は倒産の増加に伴い、173億円（前年度対比162.0%）と前年度実績を大幅に上回りました。

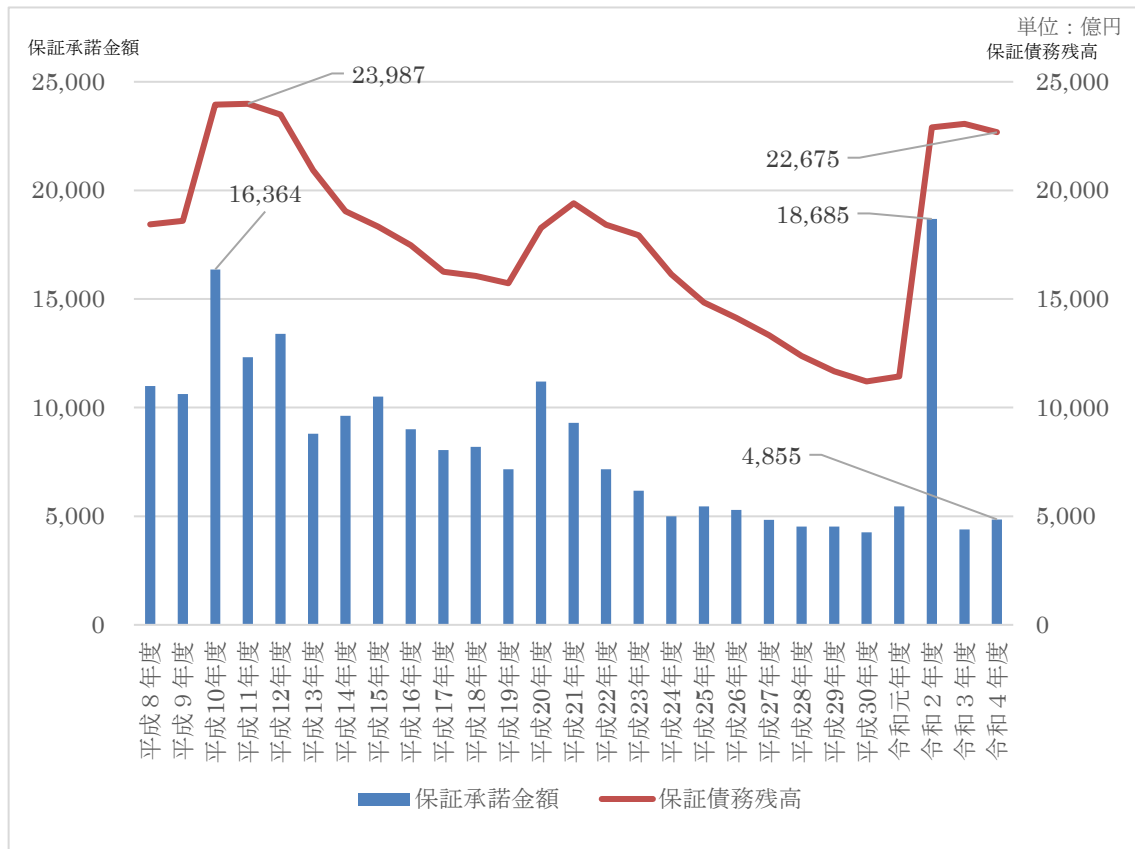
県内の中小企業・小規模事業者は、長期に及ぶ新型コロナウイルス感染症や資源価格高騰による物価上昇の影響をはじめ、DXやカーボンニュートラルへの対応、人材の確保など様々な課題を抱えています。

本協会ではこれらをきめ細かに把握し、適時適切な金融支援と経営支援の一体的な取組みに一層力を入れてまいりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

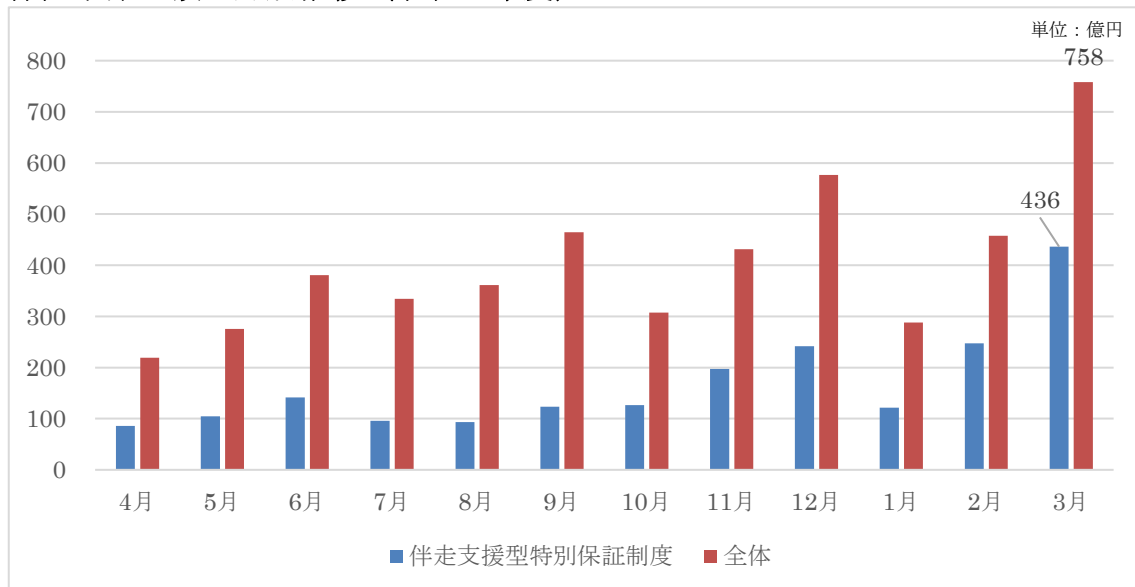
(単位 億円、%)

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比
保証承諾額	4,256	94.1	5,454	128.2	18,685	342.6	4,395	23.5	4,855	110.5
保証債務残高	11,205	96.0	11,443	102.1	22,899	200.1	23,069	100.7	22,675	98.3
代位弁済額	161	114.9	148	91.8	115	77.6	107	93.1	173	162.0

保証承諾金額、保証債務残高の推移（平成8年度～令和4年度）



保証承諾金額の月別推移（令和4年度）



II 決算

1 財務諸表

(1) 収支計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
経常支出		経常収入	
業務費	4,654,713,908	保証料	21,383,296,556
借入金利息	0	預け金利息	23,033,727
信用保険料	9,548,216,747	有価証券利息配当金	852,236,724
責任共有負担金納付金	0	延滞保証料	0
雑支出	0	損害金	49,951,649
		事務補助金	42,076,724
		責任共有負担金	961,923,000
		雑収入	73,405,148
経常支出合計	14,202,930,655	経常収入合計	23,385,923,528
経常収支差額	9,182,992,873		
経常外支出		経常外収入	
求償権償却	13,888,785,506	償却求償権回収金	246,531,336
雑勘定償却	12,619,560	責任準備金戻入	14,600,033,341
退職金	6,154,596	求償権償却準備金戻入	3,987,417,198
責任準備金繰入	14,564,896,150	求償権補填金戻入	12,738,414,670
求償権償却準備金繰入	4,286,386,600	保険金	11,703,296,974
その他支出	1,096,566	損失補償補填金	1,035,117,696
		その他収入	791,841
経常外支出合計	32,759,938,978	経常外収入合計	31,573,188,386
経常外収支差額	▲ 1,186,750,592		
制度改革促進基金取崩額	0		
収支差額変動準備金取崩額	0		
当期収支差額	7,996,242,281		
収支差額変動準備金繰入額	3,998,121,140		
基本財産繰入額	3,998,121,141		

(2) 貸借対照表 (令和5年3月31日現在)

(単位:円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
現金	516,933	基本財産	110,985,109,248
預け金	69,346,879,644	基金	4,733,949,000
有価証券	162,758,912,846	基金準備金	106,251,160,248
動産・不動産	8,695,060,126	制度改革促進基金	0
損失補償金見返	141,950,818,016	収支差額変動準備金	50,217,273,329
保証債務見返	2,267,485,599,151	責任準備金	14,564,896,150
求償権	9,128,199,635	求償権償却準備金	4,286,386,600
雑勘定	4,610,391,138	退職給与引当金	2,974,333,521
未収利息	125,045,788	損失補償金	141,950,818,016
未経過保険料	4,319,915,137	保証債務	2,267,485,599,151
その他	165,430,213	借入金	0
合計	2,663,976,377,489	雑勘定	71,511,961,474
		保険納付金	419,229,646
		損失補償納付金	35,771,065
		未経過保証料	70,987,684,342
		未払保険料	7,640,527
		その他	61,635,894
		合計	2,663,976,377,489

※業務方法書の改正に伴い、当事業年度から責任準備金の積立方法を変更しています。

責任準備金の積立方法の変更については、業務方法書の取扱いに従っており、変更後の積立方法に基づく当事業年度の期首の責任準備金と、前事業年度末の責任準備金との差額を、当事業年度の期首の収支差額変動準備金に反映しています。

この結果、当事業年度の期首において、責任準備金が696,477,831円増加し、収支差額変動準備金が同額減少しています。

(参考)

上表は、信用保証協会法施行規則等に基づいて作成していますが、よりご理解いただくため、一般企業における貸借対照表の表示等に置き換えると次のようになります。

(単位:千円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
【資産】		【負債】	
現金・預け金	69,347,397	責任準備金	14,564,896
有価証券	162,758,913	退職給与引当金	2,974,334
動産・不動産	8,695,060	借入金	0
求償権	9,128,200	雑勘定	71,511,961
求償権償却準備金	▲ 4,286,387	未経過保証料	70,987,684
雑勘定	4,610,391	その他	524,277
未経過保険料	4,319,915	負債合計	89,051,191
その他	290,476		
		【正味財産】	
		基本財産	110,985,109
		基金	4,733,949
		基金準備金	106,251,160
		制度改革促進基金	0
		収支差額変動準備金	50,217,273
		正味財産合計	161,202,383
合計	250,253,574	合計	250,253,574

※次については、備忘勘定で借方・貸方同額のため、上表から除いています。

・保証債務見返(借方)、保証債務(貸方)2,267,485,599千円

・損失補償金見返(借方)、損失補償金(貸方)141,950,818千円

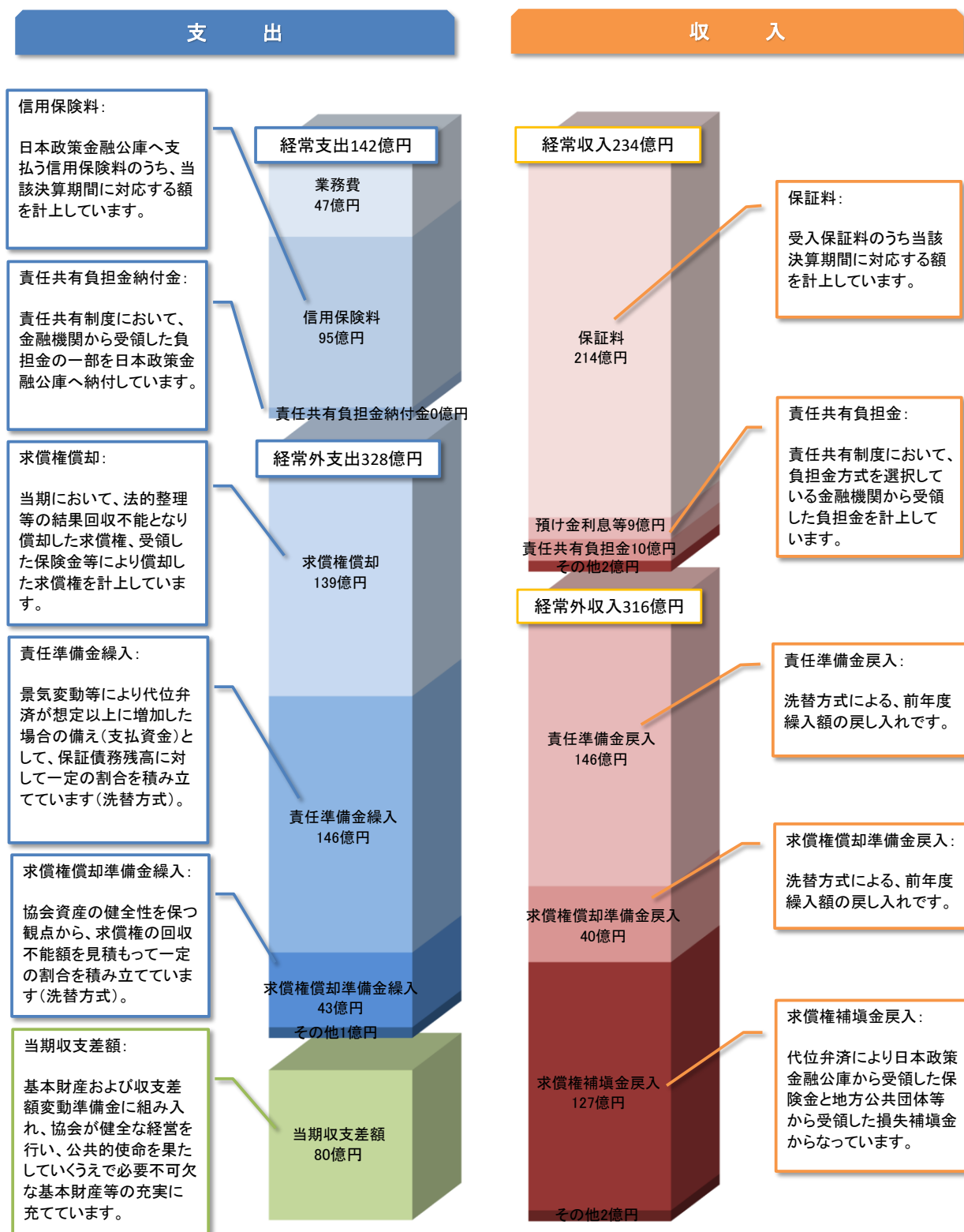
※数値の単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。

(3) 財産目録 (令和5年3月31日現在)

(単位:円)

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	516,933	責任準備金	14,564,896,150
預け金	69,346,879,644	求償権償却準備金	4,286,386,600
有価証券	162,758,912,846	退職給与引当金	2,974,333,521
動産・不動産	8,695,060,126	損失補償金	141,950,818,016
損失補償金見返	141,950,818,016	保証債務	2,267,485,599,151
保証債務見返	2,267,485,599,151	借入金	0
求償権	9,128,199,635	雑勘定	71,511,961,474
雑勘定	4,610,391,138		
合計	2,663,976,377,489	合計	2,502,773,994,912
		正味財産	161,202,382,577

2 目で見る「収支計算書」と用語解説



(注) 数値の単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計値が一致しない場合があります。